

「情報の科学と技術」オープンアクセスポリシーの策定について

2020年9月1日

一般社団法人 情報科学技術協会

本誌記事の著者の皆様へ

著者が、ご自分の執筆された記事を、機関リポジトリ、主題リポジトリ、あるいは自己のブログ等で公開される（Green Open Access; 以下グリーン OA と呼びます）ことがあります。当協会では、グリーン OA による公開について、『情報の科学と技術』原稿執筆の手引き」（以下「原稿執筆の手引き」）の「5. 著作権」の 5.3 に以下のように定めております。

5.3 著者は掲載された記事を下記の目的で利用することができます。

- (1) 記事が本誌に掲載された後、本誌に掲載されていることが分かるように表示した上で、同記事を機関リポジトリや著者自身のウェブサイトに掲載すること

しかし、この定めでは、グリーン OA による公開の場所、時期、原記事との関係表示等がやや不明確であるため、この度 5.3 を下記のように改訂致しました。

- (1) 記事が本誌に掲載された後、記事の出典が本誌掲載記事であることを明記し、出典の書誌事項を示して、同記事を著作者個人の Web サイト、所属機関のウェブサイト（機関リポジトリを含む）、研究資金助成機関の Web サイト、または非営利電子論文アーカイブ機関リポジトリに掲載すること。その際、下記の要件に従うこと。
 - ・非会員読者に対してエンバーゴ（公開猶予）期間を設けている記事の掲載は、発行から3か月経過後とする。
 - ・記事の掲載は、執筆者が提出した原稿の最終版、当協会の出版（J-STAGE からダウンロードした PDF）の複製のいずれでも可とする。なお、掲載に当たっては執筆者提出原稿の最終版か、出版物の複製であるかを付記すること。

以下、これについて説明致します。

(1) 出典の明記について

グリーン OA として公開された記事の出典が『情報の科学と技術』掲載記事であることを明記し、出典の書誌事項（著者名、タイトル、誌名、出版年、巻・号・ページ、DOI）を示して下さい。

[例] 川瀬直人, 清水茉莉子. 国会会議録フルテキスト・データベース Web API 開発の背景とその利用状況分析. 情報の科学と技術. 2015, vol. 65, no. 12, p. 531-536.
https://doi.org/10.18919/jkg.65.12_531

どこに記載されるかは、各リポジトリ運営機関の方針によっていただいております。また、技術的な制約がない限り、J-STAGE の出典記事にリンクを張るようお願いいたします。

(2) 公開の時期について

本誌が J-STAGE 上に発行された後としますが、非会員読者に対して発行後 6 か月間のエンバーゴ（公開猶予）期間を設けている記事（※1）のグリーン OA での公開は、発行から 3 か月経過後とします。これは、会員及び有料購読者のメリットを大幅に減じないための措置ですので、執筆者の方々のご理解をお願いします。

記事の発行日は、J-STAGE の目次画面で見ることができます。発行日が 2020 年 9 月 1 日であれば、エンバーゴ対象記事は同年 12 月 1 日以降グリーン OA での公開が可能です。発行後すぐに全読者（本会の会員、非会員を問わず）に公開している記事については、発行後いつでもグリーン OA で公開できます。

※1 エンバーゴを設けているのは特集記事、連載記事、3i 研究会の発表記事で、投稿論文、図書紹介、INFOSTA Forum には設けておりません。また、連載記事や 3i 研究会の発表記事であっても即時公開している例もありますので、J-STAGE 画面でご確認下さい。エ

ンバーゴ期間中の記事には、J-STAGE の目次画面に 認証有り のマークが、そうでない

記事には フリー のマークが付けられています。

(3) 公開する場所について

グリーン OA として公開可能な Web サイトは以下のいずれかとします。

- ・ 著作者個人の Web サイト
- ・ 所属機関のウェブサイト（機関リポジトリを含む）
- ・ 研究資金助成機関の Web サイト
- ・ 非営利電子論文アーカイブ

(4) 公開する記事の版について

執筆者が提出された原稿の最終版、J-STAGE からダウンロードした PDF 版のいずれを使われても結構です。なお、掲載に当たっては公開した記事が執筆者提出原稿の最終版か、出版物の複製であるかを付記してください。